

AI 礫判読システムの提供開始

オリコンサル、スカイマティクス

砂防事業 石礫調査効率化と品質向上へ

オリエンタルコンサル
タンスとスカイマティク
ス（東京都中央区、渡邊
善太郎社長）は、砂防事
業における石礫調査効率
化と品質向上を目指し

て、AI技術を用いた石
礫の自動判別クラウドシ
ステムを共同開発し、9
日からAI礫判読システ
ム「グラッチェ」として
一般への提供を開始し

た。

同システムは、ドロー
ンなどで空撮した広範囲
な溪流の高解像度の連続
写真を、クラウド上にア
ップロードするだけで、

自動的にオルソ画像、D
SM（高低差）画像、三
次元点群データ等の地形
データを生成。独自開発
のアルゴリズムによって
自動で石礫を抽出し、礫
径を判定した上で、レポ
ートを出力する。

これにより、砂防・防
災に携わる自治体や民間
企業が砂防施設計画設
計、災害時の溪流の変化
状況、溪流の経年変化の
把握などに活用できる。

今後も両社は、同シス
テムの提供と機能の強化
に取り組み、砂防事業の
業務効率化、安全性の向
上などに貢献していく。

なお、システム名称の
「グラッチェ」について
は、同システムの活用に
より、グラベル（石）を
自動でチェック（確認）
することに「感謝」とい
う思いを込めている。